

工業用機械海外輸出 毎回設計が特徴



つばくろ電機 本社

つばくろ電機は松川村本社と南神戸社で機械を作っている。今回は、社長の白澤祐二さんにお話を聞いた。

つばくろ電機では、おもに、物を作るための機械を作っている。作られた製品はおもに、他の工場で使われているということだ。例えば、自動車のカーナビゲーションの組み立て時に自動でねじを締める機械だ。また、生産品をちがうラインに運んだり、一定の数にふりわけたりと、人手が多くなるとなると、機械が効率よく動き、スムーズな生産に役立っている。

その他に、日常的に使われているインクジェットプリンター。それに必要不可欠なインクカートリッジ。そののインクを容器に注入する機械もつばくろ電機で作られている。

つばくろ電機の製品には、名前がない。なぜなら、つばくろ電機では同じ機械を作っていないからだ。白澤さんは、「毎回設計しなくてはいけないところだ、この仕事の大変なところだ」と言っていた。

また、つばくろ電機は、作った機械を日本だけでなく、アメリカ、イギリス、中国、インドネシア、フィリピン、メキシコ、タイに、多く輸出している。海外へ製品を納入するとき、その国の人達へ説明をするのが大変だと、白澤さんは言っていた。「つばくろ電機」と

毎回設計が特徴

という企業名の由来は、本社から正面に燕岳が見えるからと言う。つばくろ電機は、昭和48年6月1日に創業し、来年で40周年を迎える。

つばくろ電機では、学生などを対象とした説明会などにも、精力的に取り組んでいる。白澤さんは、「働く人が物作りを楽しいと思える会社を目指していきたい」と、笑顔で語っていた。これからは、日本国内や海外の工場で活躍する機械を作り続ける。

未来を造るハイメック



ハイメックは、松川村に多数ある工業関係会社の一つだ。光を利用した製品を作っており、時代の潮流に先駆けた開発・設計を通して高密度コミュニケーションの進歩や超臨場感・テレセンスの実現を目指している。

現社長である奥原国乗さんは、前社長の長

一つの光で三原色にする実験

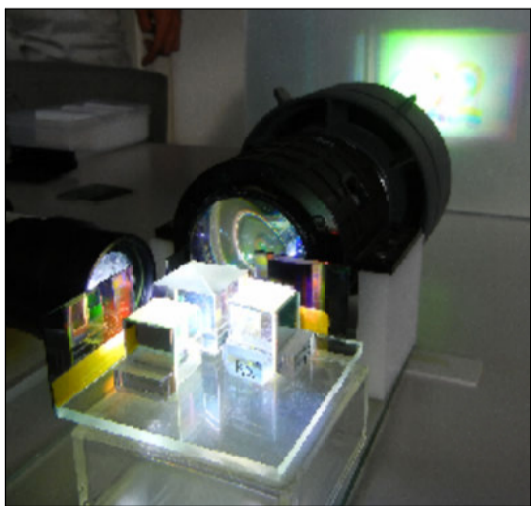
海外のメーカーと製品を共同開発するなど、未来に先駆けた活動を行っている。今回の取材でも、一つの光を元の三原色に分けたり、紫外線が見えるようにする

製品を見せてくださった。ほかにも3D技術の仕組みや、光の反射を利用した特殊な板を使うと物の向こう側の景色が見えるようになる技術の仕組みなどを見せられ、理科の実験のようだった。

「私たちは、頭の中にあるものを自分で設計し

男として会社を引き継いだ。48年前創業、元はカメラを作る会社だったハイメックは、光を利用した製品の設計などをする会社となった。

現在の活動としては、作物の光合成の勢いを光を利用して計り、旬の時期を見極める機械を大手飲料メーカーと共同で開発したり、NHKと共同



3D映像の仕組み

自分で作る、という技術を売っている。この技術を若い世代が引き継いで、光を利用した製品で未来を作っている。自然豊かな安曇野の小さな村、松川村で、未来に向けた大きな夢を話してくれた。

あとがき

松川村には、ここに紹介した以外にも数多くの工場がある。普段は意識したことはないが、取材した結果、海外への輸出に力を入れようとしている工場や、IT社会を陰で支える製品を作り、日本でも有数のシェアを誇る工場があり、驚かされた。

取材を通して感じたことは、私たちの社会は知らないところでつながっているということ。身近な製品を手にしたとき、その背後にたくさん人の手が加わっていることを考えてみたいと思った。



日本電熱松川工場

以前ホットプレートや、コーヒーマーカー等を作っていた日本電熱松川工場

では、現在床暖房や電気布団を作っており、半導体(※)生産機のヒーター

IT社会を支える工場

現在12名が日本電熱松川工場に仕事をしておられ、南側の工場では、電気布団や床暖房、北の工場では、半導体生産機のヒーターやカートリッジヒーターなどを生産している。

南側の工場では、2名が電気布団のはんだ付けをしており、1日で60台から70台もの電気布団を製造している。それを別の工場に送り、点検し、したものをさらに松川工場に送り、梱包をし、出荷

1989年、日本電熱本社が松田博幸氏によって、創業され、「熱とその制御を念頭に豊かな未来に向かって継続的に成長し、地球環境保全と人と自然の共生に貢献する」を企業方針として、環境保全のため、二酸化炭素を出さないようにするなど、地球環境保全のための配慮がなされている。

さらに、ヒーター生産においてもかなりシビアな調整がなされており、お客様の要望に応えられるヒーターを何種類も生産しており、それらすべてが極微量の誤差も許さないほどの技術が使われており、日本のヒーターシェアの約80%を誇っている。また世界的に活躍しており、某大手電子機器の会社にも日本電熱の

ヒーターが使われている。現在松川には、一つの工場しかないが将来的には、松川村に工場を集め一つの大きな工場を作り、更なる事業拡大をする計画を立てているようだ。日本のヒーターの将来を担う日本電熱に期待していきたいと思う。

※半導体とは電気伝導体や、電気を通さない絶縁体に対して、それらの中間的な性質を示す物質である。

※LCDとは、液晶ディスプレイの略称で、視覚表示装置のこと。

※カートリッジヒーターとは、パイプ状の機械からリード線を引き出した形状のヒーターで、被加熱物に挿入するだけで効果的な加熱が得られるヒーターのこと。